

ハッピー・バースデー

happy birthday

KUNST ARZT では、北澤観世の初個展を開催します。
北澤観世は、「時間」を物質的なモチーフとして、
油彩で表現するアーティストです。

「comfortable space(2025)」では、飛込競技選手の
入水までの空中演技の一連の動作を、時間軸を無視
して幾重にも重ねることで、ボリュームのある構造
体を描き出しています。

「Eternity in a Moment(2026)」では、体操選手の一
連の動作を、同様に描き出し、青銅色であることも
相俟って、銅像のような物質感が表現されています。
また、描かれる人物は、可愛いさはあるものの、匿
名性を帯びた無個性、無表情であることで、独特の
世界観を構築しています。

(KUNST ARZT 岡本光博)

経歴

2002 滋賀県生まれ

2025 嵯峨美術大学 美術学部 油画領域 卒業

現在 京都市立芸術大学 大学院 絵画専攻 油画 在籍
展示

2026 京都府新鋭選抜展／京都文化博物館

2024 嵯峨美の森／京セラギャラリー

2024 SAGA DASH 2024／同時代ギャラリー Bis

2024 北澤観世 中島攻 二人展『ボックスサンドボックス』
嵯峨美術大学 短期大学



『comfortable space』

2025、キャンバスに油彩、3240×1303mm

2026 年 3 月 3 日 (火) - 8 日 (日)

12:00-18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

時間という実体を持たない抽象的な概念を、物質的なモチーフとして捉える。

私たちは時間を、過去→現在→未来へと一方向に流れるものとして体感している。
この直線的な時間観に対し、すでに確定された過去・現在・未来のすべての瞬間が、
同一の空間上に並列して存在している状態を想定し、描き出す。

そこでは、刹那として知覚される瞬間は消え去るものでなく、
”永遠にそこにあり続けるもの”として立ち現れる。

本来は実体を持たない時間を、空間と同様に静的な構造物として扱い、
すべての時点が等価値に、同じ場所、同じ重さで並び存在する状態を成立させる。

展覧会コンセプト

一枚の絵画は、数十枚のドローイングから構成されている。

それは流れゆく時間を異なる時点から断片的に切り出したものである。

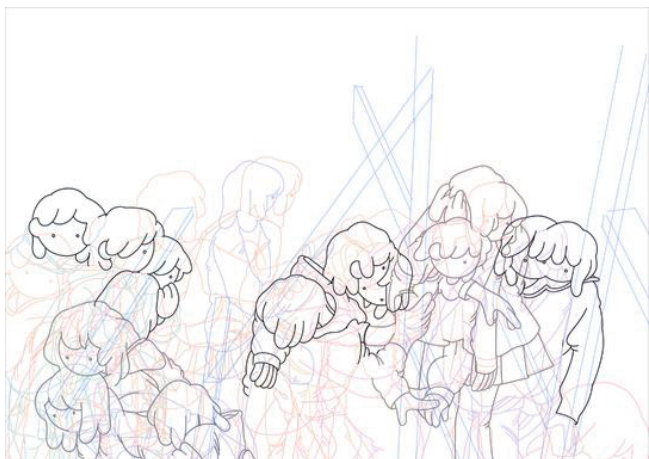
それぞれの作品はホールケーキの一切れのように独立しながら、
集められたとき、ひとつの時間の全体像を示す。



『Eternity in a Moment』
2026、キャンバスに油彩、1200×1900mm



『no title』
2025、キャンバスに油彩、1160×1900mm



『one room H214 drawing』
2025、デジタル、サイズ可変



『one room drawing』
2025、デジタル、サイズ可変